

## ドーピング予防講習会 実施報告

### ◆ドーピング予防講習会 —JADA 文部科学省委託事業—

日時	2012年12月20日(木)	16:20~17:10
会場	北海道中川郡音威子府村公民館	
主催	社団法人全日本学生スキー連盟	
後援	財団法人全日本スキー連盟	
協力	公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構(JADA)、音威子府村教育委員会	
参加	35大学 227名(指導者9名、選手218名)	

今般、第27回全日本学生チャンピオンズスキー大会(クロスカントリー)の開会に合わせ、音威子府村にて標記講習会を開催しました。

選手218名および指導者、合計227名が参加しました。

大会開会式に併せて開催したにもかかわらず、多くの選手が真剣に聞き入り、各自の知識として吸収したことと思われまます。



本講習会をシーズン緒戦前に実施することの意義は2点あります。

1つには、選手および指導者にとって必要なアンチドーピングの知識を得ること

2つめは、2013年12月に開催されるユニバーシアード冬季大会に向けた強化の一環であること

講師は、JADA教育・情報グループの片山うい氏。

講習内容は、ドーピングとは何かから始まり、どのように防止するのかに至るまで、写真・図を用いてわかりやすく解説していただきました。

具体的には、以下の9項目について選手の目線で話をさせていただきました。

1. ドーピング防止活動、ドーピングルール
2. 禁止物質・禁止方法・副作用
3. 禁止物質の確認方法
4. 競技会におけるドーピング検査の方法・手順
5. TUE申請
6. 陽性の分析報告・制裁
7. RTPと居場所情報
8. ドーピング防止のためのチェックリスト
9. ドーピング防止規則（抜粋）



強化とは、簡単に言えば競技力向上を意味しますが、テクニカルの向上に加え、競技に関わる知識を持つことが真に求められていることであろうと思います。

今回の講習を契機に、ドーピング予防や栄養など競技に関わる周辺知識を身につけることが日常生活やトレーニング方法にも大きく影響することをしっかり認識し、学連選手が競技者として着実に成長してくれることを期待しています。

最後に、大会前の大事な時間にもかかわらず、嫌な顔をせず清聴された全選手、および、設営等で快く協力いただいた音威子府村教育委員会の皆さまに感謝申し上げます。

社団法人全日本学生スキー連盟  
競技本部・医科学委員会  
文責： 倉田 秀道

## <参考>

### ▼参加大学 (あいおうえお順)

旭川大学  
大阪大学  
大阪産業大学  
学習院大学  
京都大学  
京都産業大学  
近畿大学  
慶應義塾大学  
國學院大学  
専修大学  
大東文化大学  
中央大学  
中京大学  
東海大学  
東京大学  
東京農業大学  
東北大学  
東北福祉大学  
東洋大学  
同志社大学  
名古屋大学  
日本大学  
日本体育大学  
八戸工業大学  
一橋大学  
福岡大学  
法政大学  
北翔大学  
北海道大学  
北海道教育大学  
武庫川女子大学  
明治大学  
立命館大学  
龍谷大学  
早稲田大学